

新型コロナワクチン接種のお知らせ

■問合せ 健康福祉センターさわやか (☎ 76-4006)

新型コロナワクチンについて2回の接種をした場合でも、接種後の時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されています。新型コロナワクチンの3回目接種は、2月11日(金)より、接種を希望する人で2回目の接種日の早い人から順次、65歳以上の人を優先して、接種を進めています。

■今後の接種日程

接種会場	接種日程
洞爺湖町役場	3月13日(日)、3月19日(土)、 4月3日(日)、4月16日(土)
洞爺湖文化センター	3月26日(土)、3月27日(日)

※予約をいただいた人へ2回目の接種日の早い方から順に、接種日時、会場について郵送にてお知らせしています。なお、町内の医療機関での個別接種については、5月から開始を予定しています。

■交差接種の効果

1回目、2回目の接種でファイザー社ワクチンを受けた人が、3回目でファイザー社ワクチンを受けた場合と、武田/モデルナ社ワクチンを受けた場合のいずれにおいても、抗体価が十分に上昇することが報告されています。

ワクチン接種後の一週間に起きやすい副反応として、発熱、頭痛、接種部位の痛みや腫れ、疲労感などが報告されています。

いずれも、解熱鎮痛剤や保冷剤の使用で様子を見ていただき、数日経過しても症状が治まらない場合などは医療機関へ相談してください。

ワクチンの組み合わせ	抗体価
ファイザー → ファイザー → モデルナ	抗体価は 上昇
ファイザー → ファイザー → ファイザー	

出典：Munro APS, et al. The Lancet. December 2021

小児(5歳以上11歳以下)への新型コロナワクチン接種について

5歳から11歳の子どもも、新型コロナワクチンを受けられるようになりました。国内では感染者全体に占める子どもの割合が増えていますのでワクチンを受けるかどうか、お子さんと一緒にご検討ください。なお、お子さんのワクチン接種には、保護者の同意と立ち合いが必要です。

●使用するワクチン

ファイザー社の5歳から11歳用のワクチンを使用し、通常、3週間の間隔を空けて合計**2回接種**をします。

●ワクチンの効果

ワクチンを受けると、体の中で新型コロナウイルスと戦う仕組み(免疫)ができます。

ウイルスが体に入ってきた時に、すぐに戦える準備ができるので、新型コロナウイルスの症状が出にくくなります。5歳から11歳における2回接種後7日以降の発症予防効果は90.7%と報告されています。(オミクロン株が出現する前のデータです。)

●ワクチン接種後の症状

ワクチンを受けた後、数日以内に現れる症状は、注射した部分の痛みが一番多く、1回目で74%、2回目で71%、注射を受けた日の夜や次の日に痛

みを感じる人が多く、疲れや発熱などは、1回目よりも2回目の後の方が多く現れ、38℃以上の発熱は1回目で2.5%、2回目で6.2%となっています。

ワクチンを受けた後の症状は、ほとんどが軽度または中等度であり、現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められないと判断されています。

●数日以内に起こることがある症状

50%以上	注射した部分の痛み、疲労感
10～50%	頭痛、注射した部分の赤み・はれ、筋肉痛、寒気
1～10%	下痢、発熱、関節痛、嘔吐



※厚生労働省：「5歳から11歳のお子様と保護者の方へ」新型コロナワクチン接種についてのお知らせ 抜粋